

## 分科会

## 荷主企業物流担当者への輸送に関するヒアリング調査結果

荷主企業を訪問し、トラック輸送に関する状況調査と諸問題並びにトラック輸送における取引環境、労働時間及び輸送関係法令についての啓発を行った。

## 1 調査実施日

平成30年2月28日（水）～3月14日（水）

## 2 調査対象

農産品1社 乳製品関係1社、製造業（製紙）1社 外食業1社  
建設資材1社 運送荷主2社、業界団体1団体 合計8社

## 3 調査内容

## (1) 取引事業者数

- ・メイン1社による協力会社への配車（10～30社）
- ・品物・エリアによって運送事業者を分けている（5社程度）
- ・協力会社30～80社（運送荷主）

## (2) 輸送エリア

- ・九州内 2社
- ・関西圏 2社
- ・関東圏 3社

## (3) 運送事業者との関係

- ・主要取引のある運送事業者とは良好である。
- ・着荷主からのクレーム等は大幅に減少した。
- ・自社だけではまかなえないので、協力会社と連携を図っている。
- ・協力企業との協議会を設置し、諸問題等を協議している。

#### (4) 運送事業者からの輸送に関する提案

- ・物流拠点の整備等について意見を貰った。
- ・社内に運送会社のデスクを置き、輸送の効率化を図った。
- ・待機時間の見直しについて要望が上がっているが、着荷主との交渉が進んでいない。

#### (5) 運送事業者からの運賃交渉の有無

- ・運賃改正の依頼の際は、事前に自社で価格を調査し、適正価格であれば可能な限り応じることとしている。
- ・部門毎で対応している。
- ・交渉はあるが、あまり対応出来ていない。
- ・立場上着荷主が強く、その交渉が進まない状況では一方的に運賃を上げる訳にはいかない。

#### (6) 運送事業の労働時間短縮への対策

- ・他のメーカーと協力して共同輸送の形態をとり、運送事業者の負担を軽減した。
- ・積み込みの為の待ち時間は少なくなっている。
- ・パレット化を進め作業の効率化を図っている。
- ・レンタルパレットを活用し、手積み作業の軽減を図っている。
- ・出荷時の待機時間をなくすため、社内体制の強化と時間指定を行った。
- ・着荷主から運送事業者へ直接荷役作業を依頼されるケースがあるが、立場上言えない。

#### (7) 待機時間や附帯作業の料金を請求への対応

- ・極力待機時間が発生しないように時間の見直しや高速料金の支払いなどの対策をとっている。
- ・着荷主に改善をお願いしているが、理解を得られていない。
- ・現状では待機時間の請求は出来ていない、協力運送事業者にも理解を頂いている。

(8) 労働時間の短縮やドライバー不足による物流の停滞について感想

- ・荷物が運べない状況については危惧している。
- ・協力運送事業者と連携を緊密にして離れないように努力している。
- ・荷主として選ばれる時代に来ていると感じている。
- ・RORO 船の利用など輸送形態の見直しを検討している。
- ・労働時間については、荷主と運送会社だけの問題ではなくその先の顧客や消費者の理解が無いと本当の改善が進まない、国策としての取組が重要ではないか。
- ・免許制度と労働時間短縮などの動きにより、ドライバーになる者がいなくなるのではないかと、依頼する方としても危惧している。

4 調査結果による総括

各社輸送の重要性は認識しており、運送事業者との連携を深め、効率的かつ安心安全な輸送に努めている状況が伺えた。

しかしながら、荷主側としても着荷主の方が強い立場にあり、金額交渉や労働環境の改善などについて交渉が進まない状況にある。

荷物の動きについては、物量は変わらないものの、徐々にトラックドライバー不足により、輸送に影響が出つつある状況にあると感じられた。